

平成27年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第5学年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		数と計算	5年	A(3)イ 小数の乗法, 除法の計算	小数×小数のかけ算が計算できること。			○		○	
②		(2)		数と計算	5年	A(3)イ 小数の乗法, 除法の計算	整数÷小数のわり算が計算できること。			○		○	
③		(3)		数と計算	5年	A(4)オ 異分母の分数の加法, 減法	異分母の分数を通分して, ひき算が計算できること。			○		○	
④		(4)		数と計算	5年	A(1)イ 約数, 倍数	素数について理解していること。				○	○	
⑤	2	(1)		数と計算	5年	A(4)ウ 同じ大きさを表す分数	同じ大きさを表している分数について理解していること。				○	○	
⑥		(2)		数と計算	5年	A(4)エ 分数の相等と大小	与えられたカードから2枚選んで, $1/2$ より大きい分数をつくる方法を考えることができること。		○				○
⑦	3	(1)		量と測定	5年	B(2)イ 立方体及び直方体の体積の求め方	立体の体積を求める図を見て, 図に合う式を考えることができること。		○				○
⑧		(2)		量と測定	5年	B(2)イ 立方体及び直方体の体積の求め方	体積が分かっている立体の縦, 横, 高さを求める問題をつくり, その答えを求めようとしていること。	○					○
⑨	4	(1)		図 形	5年	C(1)イ 図形の合同	合同な三角形を作図できること。			○		○	
⑩		(2)		図 形	5年	C(1)イ 図形の合同	合同な三角形を作図するために必要な辺の長さや角の大きさについて理解していること。				○	○	
⑪	5	(1)		数量関係	4年	D(1) 伴って変わる二つの数量	二等辺三角形の個数と周りの長さの関係を表に表すことができること。			○		○	
⑫		(2)		数量関係	4年	D(2)ウ □, △などを用いた式	二等辺三角形の個数と周りの長さの数の関係について, □や○を用いた式に表す方法を考えることができること。		○				○
⑬	6	(1)		量と測定	5年	B(3)ア 測定値の平均	4日間の学習時間の平均を求めることができること。			○		○	
⑭		(2)		量と測定	5年	B(3)ア 測定値の平均	家庭学習の1日の平均時間から, 金曜日の家庭学習の時間を考えることができること。		○				○
⑮	7	(1)		図 形	4年	C(2)ア 立方体, 直方体	立方体の展開図を作図できること。			○		○	
⑯		(2)		図 形	4年	C(2)ア 立方体, 直方体	さいころの展開図から, 立方体の面と面の位置関係について考えることができること。		○				○
⑰	8	(1)		数と計算	5年	A(3)ア 小数の乗法, 除法の意味	2つの数量の関係を図と関連付けて理解していること。				○	○	
⑱		(2)		数と計算	5年	A(3)ア 小数の乗法, 除法の意味	1に当たる大きさを基に, 比較量を求めることができること。			○		○	
⑲	9	(1)		数量関係	4年	D(4)ア 二つの観点から分類整理すること	二つの観点から分類整理した表にある数値の意味を理解していること。				○	○	
⑳		(2)		数量関係	4年	D(4)ア 二つの観点から分類整理すること	二つの観点から分類整理した表を読み取り, 条件に沿った報告文を書こうとしていること。	○					○

※ 網掛けの問題は, 平成26年度調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。